



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社テクノメディカ 上場取引所 東
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 (TEL) 045 (948) 1961
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,344	10.8	101	△13.7	103	△14.1	66	△16.2
22年3月期第1四半期	1,213	△0.2	118	175.8	120	170.2	79	236.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	2,286	77	—	—
22年3月期第1四半期	2,727	97	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	8,818	7,352	7,352	7,352	83.4	251,789	11	
22年3月期	10,072	7,507	7,507	7,507	74.5	257,102	35	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 7,352百万円 22年3月期 7,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	7,600	00	7,600	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	—	—	5,100	00	5,100	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	3,354	2.9	475	△17.9	477	△18.1	283	△20.4	9,704	28
通期	8,225	16.6	1,644	29.4	1,647	29.3	978	24.7	33,493	15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	29,200株	22年3月期	29,200株
23年3月期1Q	—株	22年3月期	—株
23年3月期1Q	29,200株	22年3月期1Q	29,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれており、経済情勢・競合状況・為替・金利の変動等に係わるリスクや不安定要因により、実際の業績が予想数値と大きく異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注状況	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、個人消費や設備投資を中心に内需が底入れしつつあるものの、グローバル経済における米国での金融規制導入、欧州の財政収支緊縮化、中国でのインフレ高進などの波乱要因がくすぶり続けており、日本経済の回復は脆弱な状況にあります。

医療業界におきましては、平成22年4月1日からの診療報酬改定で、全体改定率は+0.19%（約700億円）の「10年ぶりのネットプラス改定」となりましたが、後発品のある先発医薬品の追加引下げで捻出される600億円の財源が、診療報酬以外に使用されることなどから、実質は「+0.03%以下のプラス改定」となっています。

このような経営環境の中で、当社では当事業年度の営業施策として、平成21年度第4四半期に販売を開始しました新製品の国内外で販売拡大と、国内市場においては、施設の規模に柔軟に対応する採血管準備装置の最新機種BC・ROBO-888を基軸とした新規案件獲得、採血管準備装置の旧型機が更新時期を迎える施設での更新案件を確実に捕捉すること、および海外市場においては、新規先への販路拡大を継続してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は1,344,617千円（前期比10.8%増加）となりました。当第1四半期は国内市場において採血管準備装置をはじめとする各種装置の販売が増加した一方、海外市場で前第1四半期には中南米地域での血液ガス分析装置の大型案件があった反動から、当第1四半期の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同期比9.2%減少し6.7%となりました。

利益面に関しては、売上高総利益は657,751千円（前年同期比12.8%増加）、大口の研究開発費支出があったことにより販管費が555,860千円（前年同期比19.5%増加）となり、営業利益は101,890千円（前年同期比13.7%減少）、経常利益は103,575千円（前年同期比14.1%減少）、四半期純利益は66,773千円（前年同期比16.2%減少）となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第1四半期における採血管準備装置の売上高は320,647千円（前年同期比53.9%増加）となりました。

第1四半期は国内市場で順調に販売が増加し、同市場における売上高は292,207千円（前年同期比41.4%増加）となりました。

また、海外市場においても新規先への販売により、売上高は28,440千円（前年同期比26,760千円増加）となりました。

・検体検査装置

当第1四半期における検体検査装置の売上高は133,371千円（前年同期比41.9%減少）となりました。

競合他社との競争が続く国内市場においては、平成21年度第4四半期に販売を開始した新型血液ガス分析装置の販売が順調に伸び、売上高は115,256千円（前年同期比32.7%増加）となりました。

海外市場においては、前第1四半期には中南米地域での血液ガス分析装置の大型案件があった反動から売上高は18,115千円（前年同期比87.3%減少）となりました。

・消耗品等

当第1四半期における消耗品等の売上高は802,256千円（前年同期比9.8%増加）となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い758,055千円（前年同期比11.1%増加）となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、前第1四半期にあった中南米地域での血液ガス分析装置用消耗品の反動から、44,200千円（前年同期比8.3%減少）となりました。

・その他

当第1四半期においては、大型の検査システム更新案件があり、その他の売上高は88,341千円（前年同期比96.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産の残高は8,818,013千円となり、前事業年度末比1,254,620千円減少しました。これは主に、仕入債務の支払、配当金の支払及び法人税等の納付などにより現金及び預金が459,474千円減少、売掛金の回収が順調に進んだこと等により売上債権が789,175千円減少、採血管準備装置をはじめとする商品及び製品が52,707千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の負債の残高は1,465,771千円となり、前事業年度末比1,099,473千円減少しました。これは主に、平成22年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が899,231千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が182,945千円減少したことによるものであります。

当第1四半期末の純資産の残高は7,352,242千円となり、前事業年度末比155,146千円減少しました。これは利益剰余金が655,146千円減少、別途積立金が500,000千円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は83.4%となり、前事業年度末比8.9ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は1,791,729千円となり、前事業年度末比491,054千円の減少となりました。

営業活動の結果211,806千円の資金減少となりました。これは主に、第1四半期においては、採血管準備装置を中心とした販売単価が高い装置の売上が低調に推移する傾向があること、および売上高に対する固定費の負担割合が重くなっていることが響き、税引前四半期純利益が101,455千円に留まったこと、売上債権の回収が進んだことにより売上債権の減少額789,175千円があったものの、仕入債務の減少額899,231千円、法人税等の支払額213,895千円があったことによるものであります。

投資活動の結果42,141千円の資金減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出31,579千円があったことによるものであります。

財務活動の結果237,106千円の資金減少となりました。これは、配当金の支払額222,706千円および長期借入金の返済による支出14,400千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日付の平成22年3月期決算短信で発表した平成23年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

②特有の会計処理

該当はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益が94千円減少し、税引前四半期純利益が2,214千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,236,725	3,696,200
受取手形	828,877	714,577
売掛金	2,055,547	2,959,023
商品及び製品	866,059	918,766
仕掛品	94,211	69,744
原材料及び貯蔵品	66,091	48,571
前払費用	16,165	6,916
繰延税金資産	52,581	50,730
その他	1,291	404
流動資産合計	7,217,551	8,464,936
固定資産		
有形固定資産		
建物	851,857	851,857
減価償却累計額	△331,229	△323,256
建物（純額）	520,627	528,601
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△2,577	△2,528
構築物（純額）	1,499	1,549
工具、器具及び備品	48,436	47,986
減価償却累計額	△33,133	△31,232
工具、器具及び備品（純額）	15,302	16,753
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,324,757	1,334,231
無形固定資産		
特許権	4,556	4,725
商標権	1,616	1,666
ソフトウェア	1,304	1,449
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	8,655	9,019
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	140,457	138,289
保険積立金	88,340	86,962
差入保証金	30,741	31,684
投資その他の資産合計	267,049	264,446
固定資産合計	1,600,461	1,607,697
資産合計	8,818,013	10,072,633

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	664,672	1,563,903
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	30,400	44,800
未払金	81,078	136,641
未払法人税等	40,768	223,714
未払消費税等	19,165	27,816
未払費用	43,387	41,532
預り金	28,376	7,431
賞与引当金	106,000	70,000
その他	1,929	2,830
流動負債合計	1,115,778	2,218,669
固定負債		
役員退職慰労引当金	184,705	181,205
製品保証引当金	156,568	156,672
受入保証金	8,719	8,697
固定負債合計	349,992	346,575
負債合計	1,465,771	2,565,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	5,314,516	5,469,662
株主資本合計	7,352,242	7,507,388
純資産合計	7,352,242	7,507,388
負債純資産合計	8,818,013	10,072,633

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,213,575	1,344,617
売上原価	630,350	686,866
売上総利益	583,225	657,751
販売費及び一般管理費	465,190	555,860
営業利益	118,035	101,890
営業外収益		
受取利息	3,047	1,988
その他	374	213
営業外収益合計	3,422	2,202
営業外費用		
支払利息	823	517
営業外費用合計	823	517
経常利益	120,633	103,575
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,120
特別損失合計	—	2,120
税引前四半期純利益	120,633	101,455
法人税、住民税及び事業税	40,551	38,700
法人税等調整額	426	△4,018
法人税等合計	40,977	34,681
四半期純利益	79,656	66,773

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	120,633	101,455
減価償却費	6,448	10,287
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,000	3,500
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38,100	36,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,500	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△207	△104
受取利息及び受取配当金	△3,047	△1,988
支払利息	823	517
売上債権の増減額 (△は増加)	887,402	789,175
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△33,243	10,720
仕入債務の増減額 (△は減少)	△981,865	△899,231
その他の資産の増減額 (△は増加)	8,867	△9,228
その他の負債の増減額 (△は減少)	47,322	△40,486
小計	77,734	618
利息及び配当金の受取額	3,047	1,988
利息の支払額	△823	△517
法人税等の支払額	△281,894	△213,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,935	△211,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,407	△31,579
有形固定資産の取得による支出	—	△9,220
無形固定資産の取得による支出	△5,400	—
差入保証金の差入による支出	△1,213	△1,754
差入保証金の回収による収入	1,033	412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,987	△42,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△14,400	△14,400
配当金の支払額	△193,950	△222,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,350	△237,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△448,274	△491,054
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,768	2,282,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,730,493	1,791,729

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を単一セグメント内の品目別に示すと、次のとおりであります。

単一セグメント内品目別	当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
採血管準備装置(千円)	239,828	△23.1
検体検査装置(千円)	154,520	0.2
消耗品等(千円)	859,974	13.8
その他(千円)	88,341	△42.8
合計(千円)	1,342,665	△2.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社は、事業区分が単一セグメントであり、セグメント情報の区分を変更していないため対前年同四半期比を記載しております。

(2) 受注状況

見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を単一セグメント内の品目別に示すと、次のとおりであります。

単一セグメント内品目別	当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 (%)
採血管準備装置(千円)	320,647	53.9
検体検査装置(千円)	133,371	△41.9
消耗品等(千円)	802,256	9.8
その他(千円)	88,341	96.9
合計(千円)	1,344,617	10.8

- (注) 1. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間の主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ヨーロッパ	19,834	10.3	21,097	23.2
中南米	147,798	76.7	39,545	43.6
アジア	24,959	13.0	28,119	31.0
その他	—	—	1,993	2.2
合計	192,592 (15.9%)	100.0	90,755 (6.7%)	100.0

2. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
信英インターナ ショナル (株)	146,985	12.1	17,781	1.3

3. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。